

平成26年10月27日

宇都宮市議会議長 熊本和夫様

議会制度検討会議

会長 中山勝二

議会制度検討会議における検討結果について（第7次答申）

平成23年7月より、議会制度の見直しについて検討を進めてきたところではありますが、下記の事項について検討結果がまとまりましたので、別紙のとおり答申いたします。

なお、この答申をもって議会制度検討会議を終了することとし、提案会派から取り下げられた事項については、協議を見送ったことを申し添えます。

記

- 1 一般質問、回数、発言順位決定方法の検討
- 2 予算委員会の設置
- 3 正副議長選挙における所信表明等の実施
- 4 通年議会の実施

# 1 答申内容

## (1) 一般質問，回数，発言順位決定方法の検討

### ア 質問回数

#### 【検討結果】

質問回数は，現状どおり 1 人あたり年間 2 回までとする。ただし，質問者の届出が 16 人に満たない場合に限り，3 回目以降の質問を認める。

なお，3 回目以降の質問の実施方法等については，以下のとおりとする。

#### (ア)届出方法

- ・通常の届出と同様に，開会日 1 週間前の議会運営委員会の前までに届け出る。

#### (イ)発言人数

- ・余っている枠の人数分を上限とする。
- ・余っている枠よりも追加の届出者が多い場合は，回数の少ない人を優先とした上で協議することとし，協議が整わない場合は議会運営委員長が調整する。

#### (ウ)質問方法

- ・一括質問方式，一問一答方式から選択する。

#### (エ)質問時間

- ・通常の届出者と同様とする。

#### (オ)その他

- ・追加の質問においては，代表質問は行わない。
- ・追加の届出者の順序については，通常の届出者の質問が終わった後に行う。

### イ 質問順位決定方法

#### 【検討結果】

質問順位決定方法については，現状どおり，議会運営委員会での協議により決定する。

### ウ 質疑

「質問回数」の協議の中で，「質疑を年 2 回までと制限をしてよいのか。一般質問の回数制限について協議する前に，質疑の取り扱いについて整理してほしい。」との意見があったことから，協議を行った。

#### 【検討結果】

質疑の取り扱いについては，議論の中で現状どおり一般質問とあわせて行うこととなったが，質疑の重要性を指摘する意見もあり，改選後に改めて協議することを期待する。

## (2) 予算委員会の設置

### 【検討結果】

- ① 予算委員会の設置については、課題も多く、慎重な判断が必要であることから、今任期中の協議は見送るが、改選後に改めて協議することを期待する。
- ② 3月の当初予算審査において、総務常任委員会の歳入部分の審査を他の常任委員会の委員が傍聴できるよう、常任委員会の開催を試行的に見直す。

### ア 実施方法

- ・総務常任委員会は、当初予算の歳入部分の説明・質疑を他の常任委員会委員が傍聴できるよう配慮し、現状どおり午前10時から開会するとともに、当該案件を最初の議題とする。
- ・総務常任委員会以外の常任委員会は、所属する委員が歳入部分の説明・質疑を傍聴できるよう、午後から開会する。

### イ 実施時期

平成27年3月定例会において試行する。

### ウ 場所

議員協議会室

## (3) 正副議長選挙における所信表明等の実施

### 【検討結果】

正副議長選挙における所信表明等の実施については、積極的な意見と消極的な意見があり、意見の一致が見られなかった。

## (4) 通年議会の実施

### 【検討結果】

本市議会の現状に特に問題はないことから、導入する必要性は低い。また、導入に当たっては、他市議会での導入後の検証なども踏まえ、慎重に調査・研究する必要もあることから、今任期中の協議は見送る。

## 2 提案会派から取り下げられた事項

- ・傍聴しやすい環境整備
- ・会派要件の見直し
- ・調査権・監査権の拡充
- ・人事案件の審議方法見直し
- ・5 常任委員会同時開催の見直し
- ・資料の電子化，ペーパーレス化
- ・市民アンケートの実施
- ・委員会の複数所属
- ・土日議会の開催
- ・会議録作成の見直し等徹底した経費削減
- ・本市の全国への P R
- ・議長の定例記者発表の実施
- ・議会モニター制度の創設
- ・政策説明資料の作成制度化
- ・政策形成サイクルの構築
- ・議会における事務事業評価
- ・議会における事業仕分け
- ・常任委員会の「その他」における通告制

### 3 検討経過

平成26年

6月10日 第25回作業部会

- ・「一般質問、回数、発言順位決定方法の検討」「予算委員会の設置」「正副議長選挙における所信表明等の実施」「通年議会の実施」について協議

7月10日 第26回作業部会

- ・「予算委員会の設置」「正副議長選挙における所信表明等の実施」「通年議会の実施」について協議

8月19日 第32回検討会議

- ・「一般質問、回数、発言順位決定方法の検討」「予算委員会の設置」「正副議長選挙における所信表明等の実施」「通年議会の実施」について協議

10月 7日 第27回作業部会

- ・「一般質問、回数、発言順位決定方法の検討」「予算委員会の設置」について協議

10月14日 第33回検討会議

- ・「一般質問、回数、発言順位決定方法の検討」「予算委員会の設置」について協議

10月22日 第34回検討会議

- ・「第7次答申（案）」について協議

## 4 委 員

会 長	中 山 勝 二
副会長	塚 田 典 功
委 員	保 坂 寿
同	馬 上 剛
同	駒 場 昭 夫
同	木 村 由美子
同	小 林 紀 夫
同	五月女 伸 夫
同	半 貫 光 芳
同	西 房 美
同	金 沢 力
同	南 木 清 一
同	荒 川 恒 男
同	今 井 恭 男
同	細 谷 美 夫

### 議会制度検討会議作業部会

部会長	塚 田 典 功
委 員	保 坂 寿
同	駒 場 昭 夫
同	木 村 由美子
同	小 林 紀 夫
同	西 房 美
同	荒 川 恒 男

## 参考資料

### (1) 第1次～第6次中間答申（抜粋）

#### ア 第1次中間答申（平成24年1月30日）

- (ア) 海外視察の自粛
- (イ) 一般質問における対面方式，質問方式の選択制
- (ウ) 代表質問制の明確化
- (エ) 賛否の公表
- (オ) 議会広報紙の内容充実
- (カ) 執行部の会派説明の見直し

#### イ 第2次中間答申（平成24年7月30日）

- (ア) 反問権の検討
- (イ) 議案審議に必要な情報の充実

#### ウ 第3次中間答申（平成25年1月29日）

- (ア) 政策討論の実施
- (イ) 議決事件の追加
- (ウ) 参考人・公聴会制度の活用
- (エ) 請願及び陳情者の意見陳述機会の保障
- (オ) 情報提供の充実
- (カ) ネット中継の充実

#### エ 第4次中間答申（平成25年7月23日）

- (ア) 議員間の自由討議の規定
- (イ) 報告会等の開催
- (ウ) 非公式公開討論会の開催
- (エ) 反問権の検討
- (オ) 議会基本条例の制定

#### オ 第5次中間答申（平成25年9月12日）

- (ア) 議会基本条例の制定

カ 第6次中間答申（平成26年1月29日）

- (ア) 議員報酬
- (イ) 議員定数
- (ウ) 政務活動費
- (エ) 議員協議会の積極的な活用
- (オ) 議会人事を年度に合わせる
- (カ) 委員会の審議（議論活発化の議事）

（2）検討項目の協議結果一覧

別紙のとおり